



TITLE:

開会のあいさつ(基礎物理学研究所
の将来と物理学,基研シンポジウム)

AUTHOR(S):

佐藤, 文隆

CITATION:

佐藤, 文隆. 開会のあいさつ(基礎物理学研究所の将来と物理学,基研シンポジウム). 物性研究 1980, 34(2): 141-141

ISSUE DATE:

1980-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90114>

RIGHT:

開 会 の あ い さ つ

佐 藤 文 隆

御参集いただきましてありがとうございます。

研究部員会議の折りに何か基礎物理学研究所の将来を考える上で参考になるシンポジウムを持とうということでこの会をやることになりました。企画はシンポジウム実行委員が行いました。昨年は25周年ということで全体のシンポジウムを持ったばかりですが、年に一度くらいは他分野の話を聞くのもよいという意見もありますし、また将来計画や制度的な問題について考えていく上でもこういう様式の会もよいということであったかと思います。

将来計画の議論をまとめて5月に「基礎物理学研究所の将来」というパンフレットを出しております。一つのたたき台として色んな所で御検討いただきたいと思います。この点については次の春の物理学会でシンポジウムをやる予定です。

この7月に私達は大変悲しい報せを聞かざるを得ませんでした。昨秋まで皆さんの間に顔を見せておられました朝永振一郎先生がこのように急逝されるとは思いもよらぬことでありました。心から哀悼の意を表します。

基研にとって先生はその生みの親の一人であり、また育ての親でもあります。このシンポジウムの初めに朝永先生追悼のセッションを行うことにし、基研との係わりと、物理の面について各々小林先生と宮本先生にお話しいただくことになりました。故人を偲び、将来を考える機会にしたいと思います。